

# シリーズ 行財政改革 ①

企画防災課行財政改革推進室 ☎ 74-3004



今月号から4回シリーズで、これまでの町の行財政改革についてお知らせします。  
第1回は、『これまでの行財政改革』の概要についてです。

## 行財政改革の推進

町では、平成19年3月に「洞爺湖町行政改革大綱」を策定し、行政運営の簡素化・効率化に努めてきましたが平成21年度に財政健全化団体となりました。

このため、従来の実施計画に「財政健全化計画」の緊急的な取組を新たに加え、町全体の「借金を減らす」ための歳入確保と歳出削減策を強力に推し進めてきました。



## 職員数の削減

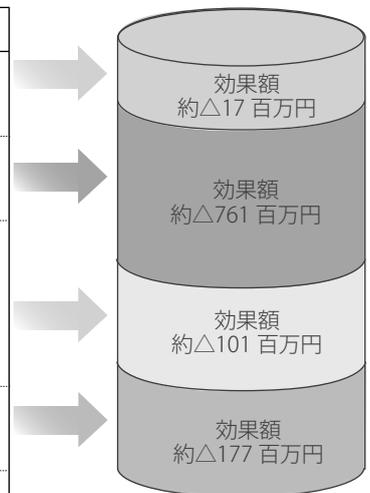


合併直後の平成18年4月1日に184人であった職員数は、勤奨退職制度の活用や退職者不補充などによって、平成22年度末(平成23年3月31日)には152人となっており、職員の定数管理計画を上回る職員数の減となっています。この間の削減数は32人、削減率は17.4%となっています。  
\*特別職及び町立高校の教職員数は含みません。

## 取組の概要

6つの重点事項を柱に、行財政改革を行ってきました。

重点項目	主な具体的取組内容(平成18年度～22年度)
1 効率的な組織・機構の編成	<input type="checkbox"/> 委員報酬の見直しによる歳出の削減 <input type="checkbox"/> 部制の廃止、グループ制の導入による組織改革
2 定数管理・給与の適正化及び人材育成	<input type="checkbox"/> 特別職及び一般職員給与の独自削減 <input type="checkbox"/> 退職者不補充による職員数の削減
3 健全な財政運営	<input type="checkbox"/> 普通建設事業の抑制(歳出削減、公債費比率の抑制) <input type="checkbox"/> 事務的経費の見直し(内部管理経費の徹底した縮減) <input type="checkbox"/> 全ての補助金を白紙に戻し、新規採択(補助金改革) <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し(入浴事業、公共施設使用料など)
4 効果的な事務事業の推進	<input type="checkbox"/> 文書管理システム導入による事務経費節減、効率化 <input type="checkbox"/> 事務事業の再編・整理、廃止・統合(行政評価の活用)
5 情報化の推進による行政サービスの向上	<input type="checkbox"/> 申請用紙、施設予約等の一部電子化 <input type="checkbox"/> 町公式ホームページの充実
6 地域協働の推進・公正の確保と透明性の向上	<input type="checkbox"/> パブリックコメント制度の導入 <input type="checkbox"/> 広報紙、ホームページによる情報公開の充実



## 平成18年度から22年までの財政効果

これまでの行財政改革による財政効果は、職員給与の独自削減、退職者の不補充、行政評価を活用した事務事業の再編・整理、休廃止・統合などによる歳出削減策で、住民の皆さんにもご理解、ご協力をお願いし、10億円以上の財政効果額を生み出しました。

### 給与削減以外の主な行財政改革の取組

- ◇町債等の繰上償還(H20～)
- ◇職員による土日祝日の日直、庁舎清掃(H21～)
- ◇長寿祝い金の見直し(H21)
- ◇火葬場の統合(H21)
- ◇一般入浴事業の見直し(H22)
- ◇高齢者入浴助成事業の見直し(H22)
- ◇保育料の見直し(H22)
- ◇公共施設使用料等の減免減額見直し(H22)
- ◇遊休財産等の処分(H22)ほか

